

みなさまの保険情報

INSURANCE INFORMATION

TOPIC

高齢者の交通事故が増えています!!

～高齢者の交通事故防止対策を考えてみましょう～

年齢を重ねると身体機能や反応速度は若い頃と比べると変化し、これらの変化が交通事故を起こす一因となることもあります。高齢者の事故防止対策を運転中と歩行中に分けて紹介します。

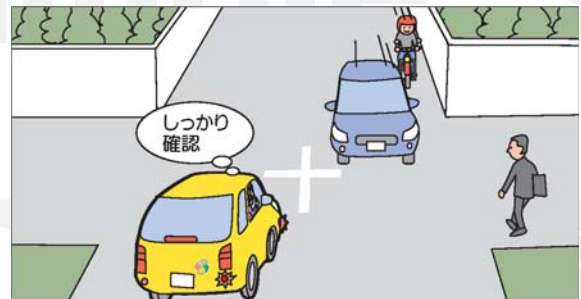
運転時に確認しよう3つの行動!!

高齢のドライバーが起こした事故パターンを見てもみると、出会い頭の事故が全体の約31%、右折中が約17%、左折中が約9%となっています。これらを防ぐ、身体機能に応じた安全な行動を実践してみましょう。

見通しが悪ければ、徐行が必要です。一時停止の交差点では、しっかり停止しましょう。



右折は、急がず慎重に行い、対向車の速度や対向車の陰のバイクなどにも注意しましょう。



左折は、左後方の安全を確認して道路の左端に寄り、徐行して前後左右の安全確認をしましょう。



道路横断中に実践しよう3つの対策!!

歩行中事故の死者数のうち7割以上が65歳以上となっており、そのうち、約8割が道路横断中です。また、歩行中の死者数のうち約2割以上が夕暮れの時間帯です。道路横断中の3つの対策を実践してみましょう。

横断の前にひと呼吸おいて、左右の安全確認をし、余裕をもって渡りましょう。



生活道路と交差する広い道路に注意が必要です。信号機のある交差点や横断歩道などを渡りましょう。



夕暮れ、夜間、早朝は反射材を付けましょう。明るい色の服を着るだけでも効果があります。



(日本損害保険協会「みんなで実践!交通事故防止!(高齢ドライバー・高齢歩行者編)」を加工して作成)